

2023年

7月▶8月の星空



プラネタリウム
100周年

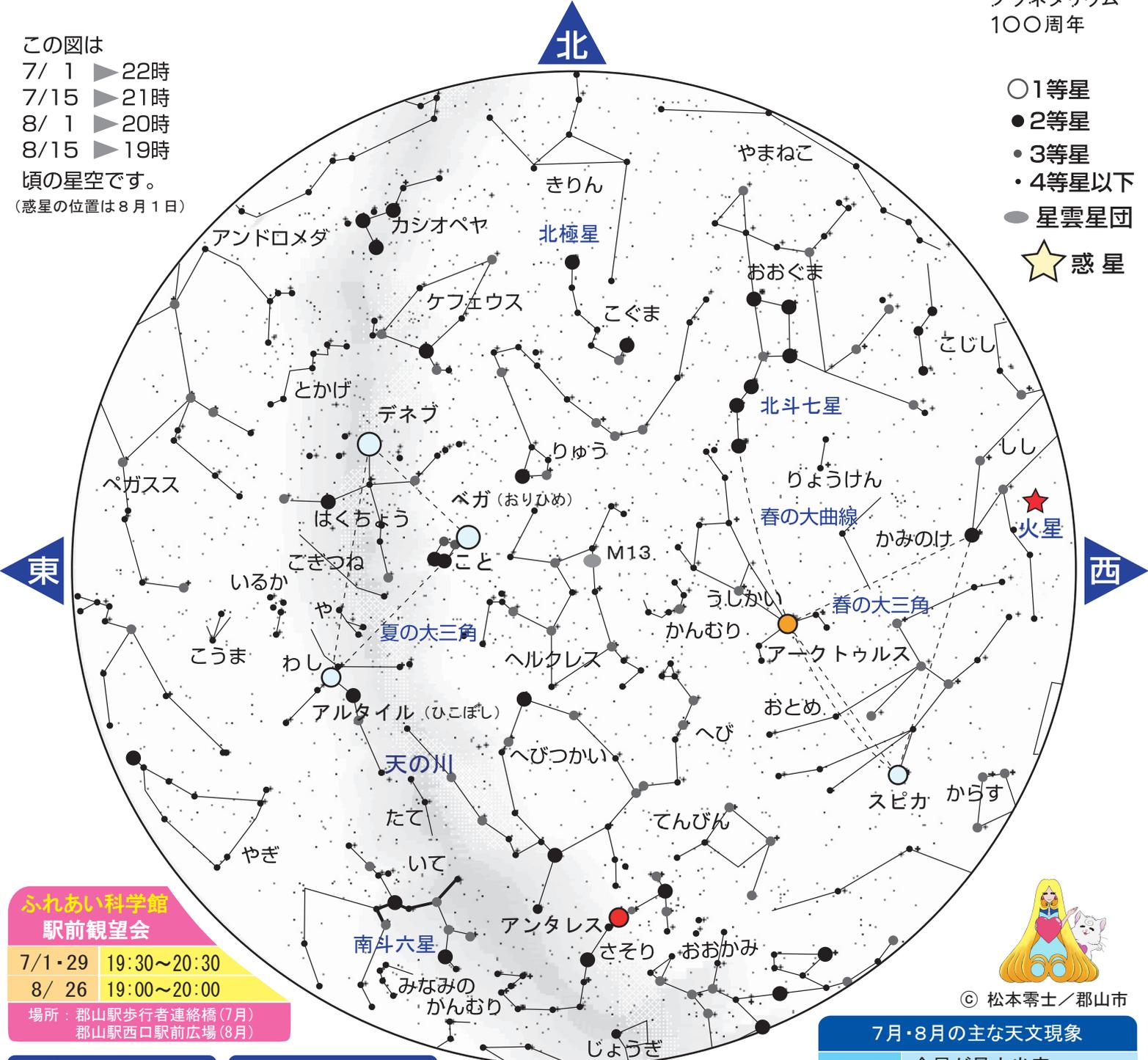
この図は

- 7/ 1 ▶ 22時
- 7/15 ▶ 21時
- 8/ 1 ▶ 20時
- 8/15 ▶ 19時

頃の星空です。

(惑星の位置は8月1日)

- 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星以下
- 星雲星団
- ★ 惑星



ふれあい科学館 駅前観望会

7/1・29	19:30~20:30
8/26	19:00~20:00

場所：郡山駅歩行者連絡橋(7月)
郡山駅西口駅前広場(8月)



© 松本零士・郡山市

7月・8月の主な天文現象

7/7	金星が最大光度
8/10	水星東方最大離角
8/13	ペルセウス座流星群極大
8/28	土星が衝(しょう)

郡山の日の出・日の入

7/1	4:18	19:07
7/15	4:26	19:03
8/1	4:39	18:50
8/15	4:51	18:35

月の満ち欠け

新月	7/18, 8/16
上弦	7/26, 8/24
満月	7/3, 8/2, 8/31
下弦	7/10, 8/8

※上弦、下弦は
半月です。

暑い夏が訪れ、夜空には夏の星たちが広がります。代表的な「夏の太三角」は、こと座の「ベガ」、わし座の「アルタイル」、はくちょう座の「デネブ」を結んだ三角形です。ベガは織姫星、アルタイルは彦星としても知られ、7月7日は七夕の日としておなじみです。それに加え、旧暦の7月7日も七夕の日として楽しむことができます。この日を「伝統的七夕」と呼び、今年は8月22日にあたります。現在の暦での7月7日は梅雨の期間であることが多いですが、旧暦の7月7日のころは夏空が広がり、星を楽しむのに良い季節です。

夏の星とともに流れ星も楽しみましょう。三大流星群の1つ「ペルセウス座流星群」が8月13日に極大を迎えます。最も多く見られるのは14日の夜明け近くで、空の暗いところでは1時間に30個ほどの流れ星が見られると予想されています。極大日だけでなくその前後の2日間も普段より多く見られますので、天候をチェックしながら流星群の観察を楽しんでみてください。また、流れ星はいつどこに流れるか分かりません。空を広く見渡すように観察しましょう。レジャーシートなどを敷いて地面に寝転んだり、背もたれが傾けられる椅子などを使って楽な姿勢で観察すると良いでしょう。

